

組織	会 長 小 林 高太郎 (神 代 中 学 校)	
	副 会 長 門 脇 伸 子 (桧 木 内 小 学 校)	佐 川 由 紀 子 (西 明 寺 小 学 校)
	事 務 局 田 中 真 二 朗 (西 仙 北 中 学 校)	
	研 究 部 菅 原 久 実 (美 郷 中 学 校)	
	監 事 菅 原 靖 (神 岡 小 学 校)	三 浦 典 子 (大 曲 小 学 校)
	幹 事 菊 地 伸 (大 曲 中 学 校)	

## 主な事業

秋田県造形教育研究会主催  
夏季研修会への参加 / 7月26日

全国造形教育研究大会長野大会 研修視察  
(長野県軽井沢・佐久平 / 11月17日18日)

大曲仙北児童生徒美術展 審査及び研修会  
(大仙市大曲交流センター / 12月4日・5日)

全国大会に向けた指導案検討会  
(小・中学校部会 随時開催)

## 研究会の記録

日々の研究として

今年度も「思い豊かで楽しくてたまらない造形教育を求めて」という研究テーマの下、会員共通の視点をもって授業に臨み、授業改善につなげていった。

授業改善に向けた研究の重点を「自ら表したいこと・考えたいことを見つけさせる指導の手立て」として、授業での導入時の引きつけ方、材料提示の工夫、制作途中での参考作品の見せ方など、改善ポイントを挙げ、各会員が授業において意識して実践すると共に意見交換の場を設けて研修を深めてきた。

また、次期学習指導要領に対応した3つの柱を重点に授業改善の方策を研究している。また、来年度の全国大会に向け、授業研究班は随時指導案検討会を行い、その成果を全会員に共有したいと考えている。

関連事業

平成29年度 大曲仙北児童生徒美術展

期日：12月4日(土)～5日(日) 場所：大仙市大曲交流センター講堂

児童生徒数の減少に伴い、出品点数は減少傾向だが、出品作品は多種多様であり、表現レベルも向上している。児童生徒が各々の作品に対し、自己の心情や考え、イメージを基に表現したいことを意識して制作された作品が多数あったが、これは指導者が児童生徒の内面に重点を置いた授業を展開するとともに、制作意欲を引き出し、思いを作品で表現するための働きかけが工夫された成果と思われる。大曲仙北造形教育研究



大会での授業演示の様子を紹介するビデオ上映等も行い、作品の上手い下手という視点ではなく、図工・美術の楽しさや大切さなどを子どもたちの授業風景や作品から感じ取ってもらう取組を行っている。